

2020年3月期通期決算 について

2020年5月
株式会社ビーマップ



Copyright © BeMap, Inc.

会社概要



- 会社名 株式会社ビーマップ
- 所在地
〒101-0047
東京都千代田区内神田2-12-5
内山ビル4F・5F
- 創立 1998年9月4日
- 資本金 930百万円
- 株式数 3,227,000株
(うち自己株式1,013株)
(1単元 100株)
- 役員 7名
- 従業員 77名
- 子会社・関係会社
(株)こんぷりん
(株)MMSマーケティング
※2020年3月31日現在
- 加盟団体
 - ・一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム(MCF)
 - ・日本鉄道サイバネティクス協議会 (一般社団法人日本鉄道技術協会特定部会)
 - ・無線LANビジネス推進連絡会
- 役員
 - 代表取締役社長 杉野 文則
 - 取締役 大谷 英也
 - 取締役 川内 武
 - 取締役 岩淵 弘之
 - 常勤監査役 小山 信行
 - 監査役 小林 義典
 - 監査役 小林 弘樹
- 主な取引先
NTTブロードバンドプラットフォーム、
その他NTTグループ各社(NTTルパルク、NTTドコモ、NTT東日本他)、
ジェイアール東日本企画、東京地下鉄、アイテック阪急阪神、
読売新聞、麒麟ビバレッジ、電通、ヤフー、カジタク、シャープ
、三光ソフラン、ニッポン放送、花王、スカイダイニング、
、コカ・コーラボトラーズジャパン、アイティフォー他

ビーマップの事業ドメインは

- ・多種多様なモバイル端末へのコンテンツサプライを可能にするソフトとサービスの提供。
- ・放送、生活動線、通信、モバイルを活用した創客ビジネスの提供。

Best Mobile Application Producer



2020年3月期の決算概要

独自商品の企画開発・提案に注力し、不採算案件の整理に注力。ナビゲーション事業は予定以上に進捗し、ワイヤレス・イノベーション事業はほぼ予定どおり、ソリューション事業も改善し、3期連続黒字。営業利益は2期連続で過去最高を更新。

(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	増減	前期比
売上高	1,482	1,494	+8	+0.8%
営業利益	81	101	+20	+24.9%
経常利益	83	116	+33	+38.6%
当期純利益※	63	88	+15	+40.8%

※親会社株主に帰属する当期純利益、以下同

2020年3月期のトピックス

1) 3期連続黒字、営業利益は過去最高

売上高1,494百万円、営業利益101百万円、経常利益116百万円、当期純利益88百万円

2) ここ数年取り組んできた当社独自商品、新商品が伸長

①ナビゲーション事業

交通系ICカードを活用した「transit manager」

私鉄系鉄道会社向けアプリ開発

②ワイヤレス・イノベーション事業

無線LANアクセスポイント「IgniteNet」とクラウド管理システム

車載コンテンツ配信サーバなどAirCompassシリーズ

③ソリューション事業

O2O2O (OnAir to OnLine to OffLine) 事業

MMS (Media to Mobile to Store) 事業

3) 持分法適用 MMSマーケティングが躍進

MMSマーケティングが、大手流通グループ等からのプロモーション支援業務受託等により、売上高、営業利益が大幅に伸長し、2期連続黒字。

MMSも含めて、出資先全会社7社すべてが黒字。

4) 損失削減に向けた取り組みを継続

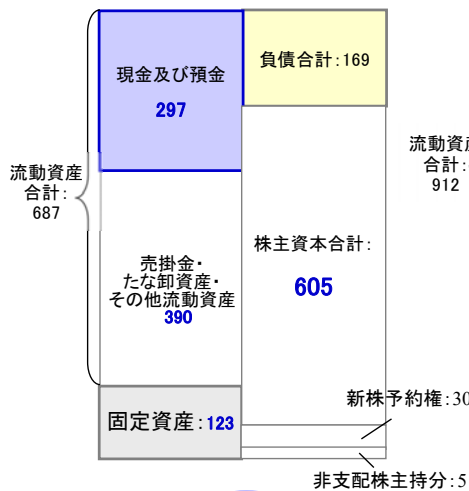
クラウド型通訳サービス「J-TALK」の縮小へ

自己資本比率は低下したものの実質無借金経営を継続。

(単位:百万円)

2018.3期(連結)

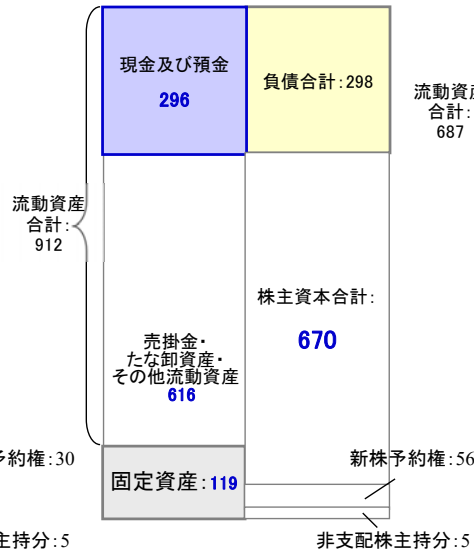
資産合計/負債純資産合計:811



自己資本比率
74.7%

2019.3期(連結)

資産合計/負債純資産合計:1,032

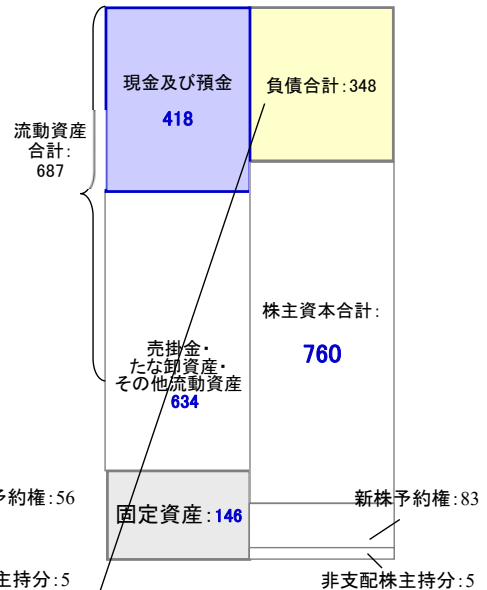


自己資本比率
65.0%

期末に売上/仕入が集中したことによる増加
期末日時点での借入金はありません。

2020.3期(連結)

資産合計/負債純資産合計:1,199

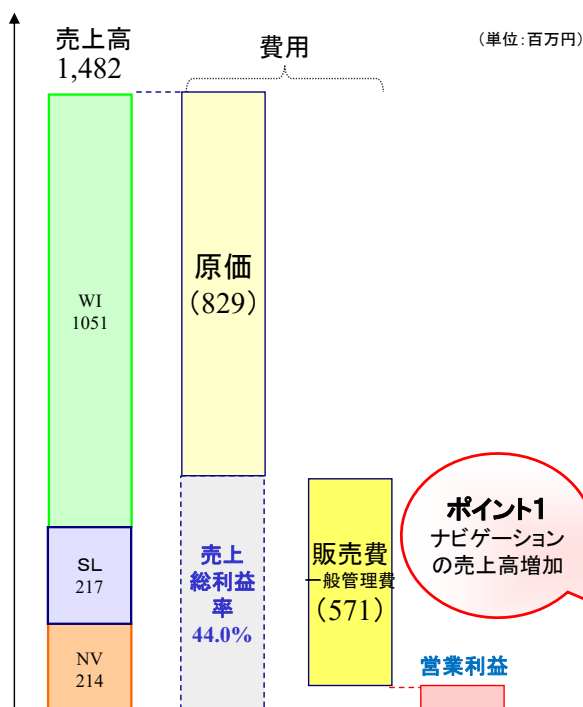


自己資本比率
63.4%

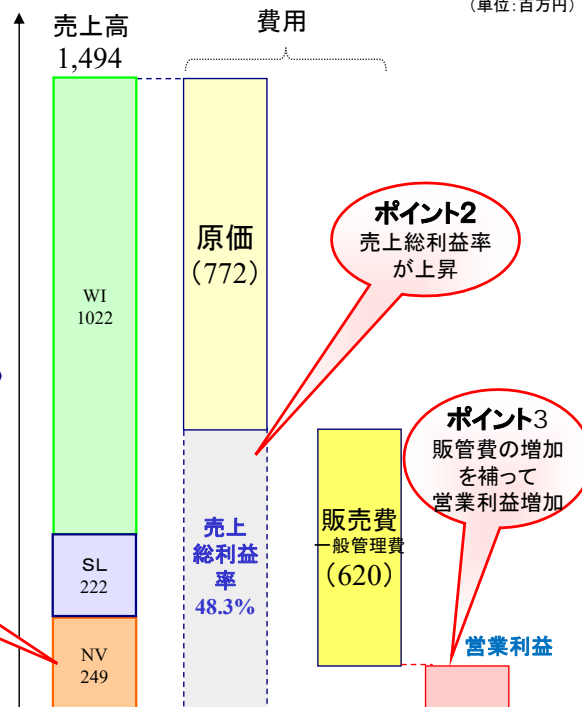
2020年3月期の対前期比較・分析

前期の実績
(2019年3月期通期)

今期の実績
(2020年3月期通期)



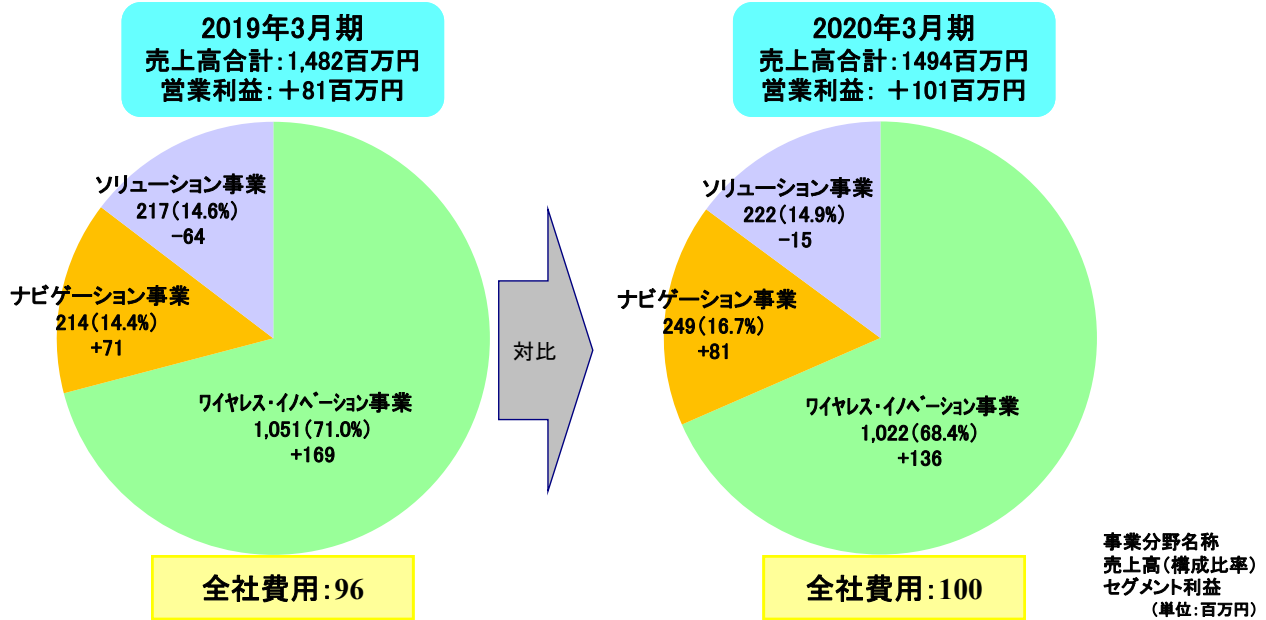
ポイント1
ナビゲーション
の売上高増加



ポイント2
売上総利益率
が上昇

ポイント3
販管費の増加
を補って
営業利益増加

ワイヤレス・イノベーション事業が、引き続き売上の大半を占める。
ナビゲーション事業は鉄道事業者向けのアプリ開発が伸長。
ソリューション事業は損益改善へ。



事業別の状況①

ワイヤレス・イノベーション事業分野

売上高1,022百万円(前期1,051百万円)・営業利益136百万円(同169百万円)

- ①既存システムの拡張案件・運用案件は計画通り推移した。新規構築・開発案件も中小規模中心に伸長した。2Q、4Qの大型案件もあり、ほぼ前期並みの売上高。
- ②当社独自商品のIgniteNet及びクラウド管理システム、車載サーバ等のAirCompassシリーズが高速鉄道等に活用されるなど、徐々に拡大し、受注活発に。
- ③通信事業会社のIoT(一次産業向け展開など)、ヘルスケアの取り組みにも参加。

ナビゲーション事業分野

売上高249百万円(前期214百万円)・営業利益81百万円(同71百万円)

- ①時刻表・経路探索サービスについては、予定通り推移した。
- ②交通系ICカードを活用したtransit managerは、徐々に顧客を伸ばす。
- ③JR以外の私鉄系鉄道会社向けアプリ開発案件が伸長し数値面で貢献。
- ④古地図アプリ「大江戸今昔めぐり」は収益化に苦戦。

※営業利益は、全社経費を除いた数値を記載しております。

ソリューション事業分野

売上高222百万円(前期217百万円)・営業損失15百万円(同64百万円)

- ①O2O20事業・MMS事業に重点的に取り組む。
特に、MMSマーケティングが受託した流通事業者向けの案件の業務支援に注力した。利益率が高い事業であり、今後の成長に期待。
- ②コンテンツプリントサービス「こんぷりん」は、AKB48・坂道グループのイベント等に合わせた商品展開を実施。
- ③映像配信システム事業、TVメタデータASP事業は前年並み。
- ④TVメタデータASP事業の損益は改善。
- ⑤クラウド型通訳サービス「J-TALK」については終了し、聴覚障害者向けサービスへのプラットフォーム提供への転換に取り組む。聴覚障害者向けサービス(手話)は新型コロナウイルスの影響下で注目を集める。
- ⑥他事業への人員シフトにより固定費を軽減し、プラマイゼロに近づく。

※営業利益(損失)は、全社経費を除いた数値を記載しております。

子会社及び関連会社の状況

子会社 (株)こんぷりん

コンビニの複合機向けのコンテンツ配信を主に手掛ける。

売上高	18百万円
営業利益	0百万円
当期純利益	0百万円
純資産	11百万円
総資産	13百万円



減収減益となるが、連結に与える影響は軽微

持分法適用会社 (株)MMSマーケティング

鉄道広告をはじめとするメディア・広告からの送客事業を手掛ける。

2019年3月期には、大手流通グループ等へのプロモーション支援業務受託等により黒字化。

2020年3月期は更に伸長。

売上高	1,080百万円
営業利益	97百万円
当期純利益	61百万円
純資産	100百万円
総資産	420百万円



2020年3月期においては、持分法投資損益の計上により、連結経常利益・連結純利益を上積み。

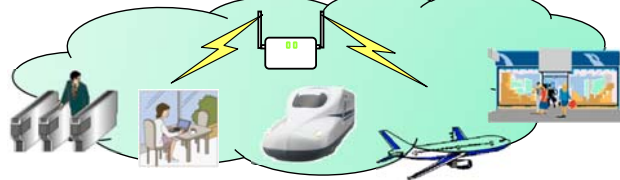
ワイヤレス・イノベーション事業

※従来のクロスメディア事業部を、第19期より「ワイヤレス・イノベーション事業部」に改称いたしました。

ワイヤレス・イノベーション事業の内容①

ビーマップ 無線LAN 関連事業

- 無線LANのプラットフォームの企画、開発、運用。無線LAN APを通じた、情報配信の提供。
- 人口集中地域における通勤・通学手段としての鉄道会社、コンビニ・レストラン等を通してコンテンツの配信を行う。通信事業者、鉄道事業者他を通して展開。



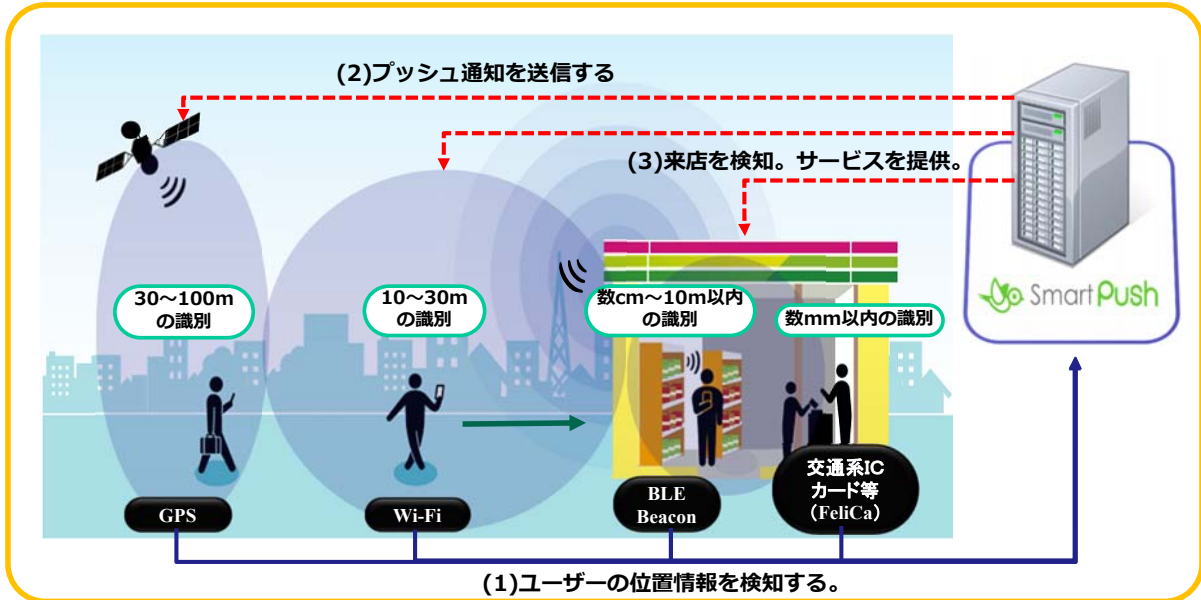
※無線スポットは駅周辺から航空機・列車内・コンビニ・外食にて展開

■ 無線LAN を活用した Push 型コンテンツ配信システム



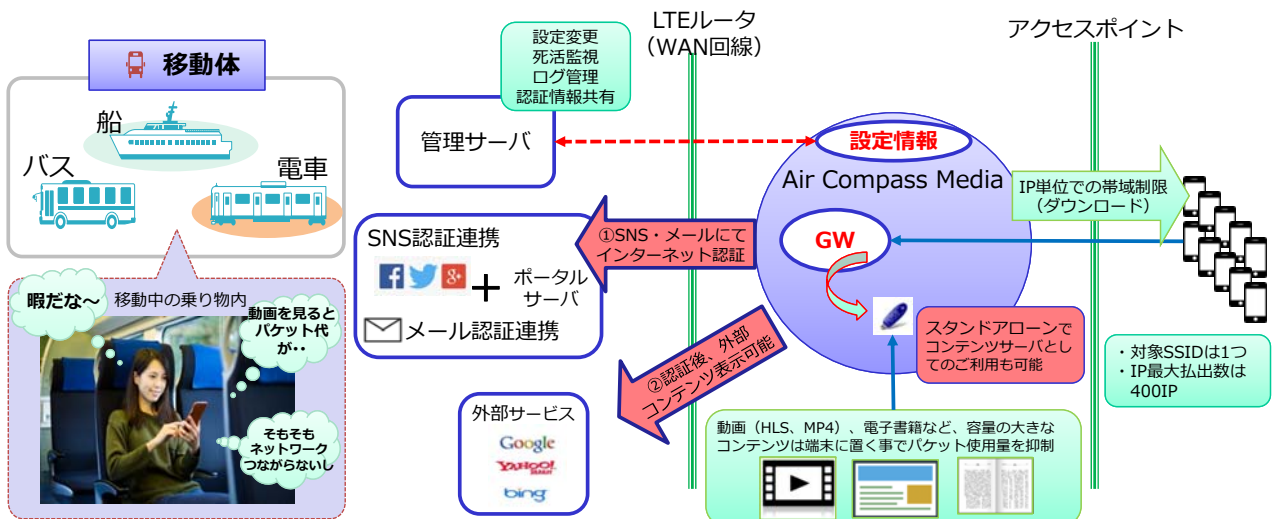
G P S/Wi-Fi/Beacon/NFC (Felica) を複合的に活用できる
サービスプラットフォームを提供

■ G P S/Wi-Fi/Beacon/NFC (Felica) 等、様々な位置情報、配信に関する技術を複合的に連携させながら提供できるプラットフォームを提供可能。



車載コンテンツ配信サーバ
Air Compass Media

列車、バス、船舶等 電波環境が悪い環境にて魅力的なコンテンツ配信サービスを提供する
コンテンツ配信サーバの提供。



モビリティ・イノベーション事業

※従来のナビゲーション事業部を、第23期より「モビリティ・イノベーション事業部」に改称いたします。

モビリティ・イノベーション事業の内容①

モビリティ・イノベーション事業

事業概要

- 経路探索ソフト トラベルナビゲータの技術・ノウハウをベースにした
 - ・ JRインターネット予約サイト「えきねっと」の構築・運用
 - ・ 駅周辺ビジネス、列車内サービスの企画・構築・運用
 - ・ 交通系ICカードを活用したサービス「transit manager」の企画・構築・運用

えきねっと

JR東日本の列車予約サイト
「えきねっと」向け開発



交通系ICカードを活用したビジネス



駅・列車内ビジネス



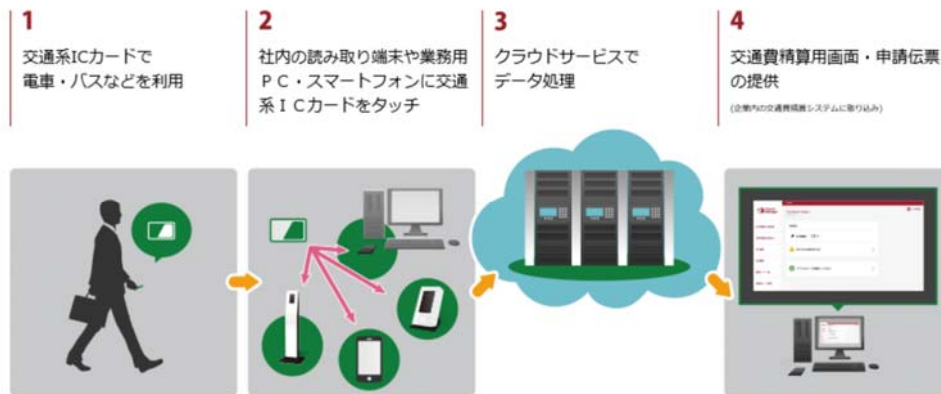
送客・創客ビジネス



transit manager ～交通系 I Cカードを活用した旅費精算システム～

株式会社ジェイアール東日本企画、JR東日本メカトロニクス株式会社、ソフトバンク株式会社と当社で共同展開する。

交通系 I Cカードを利用した旅費生産システム。当社は、開発・運用・営業を担当。



利用イメージ

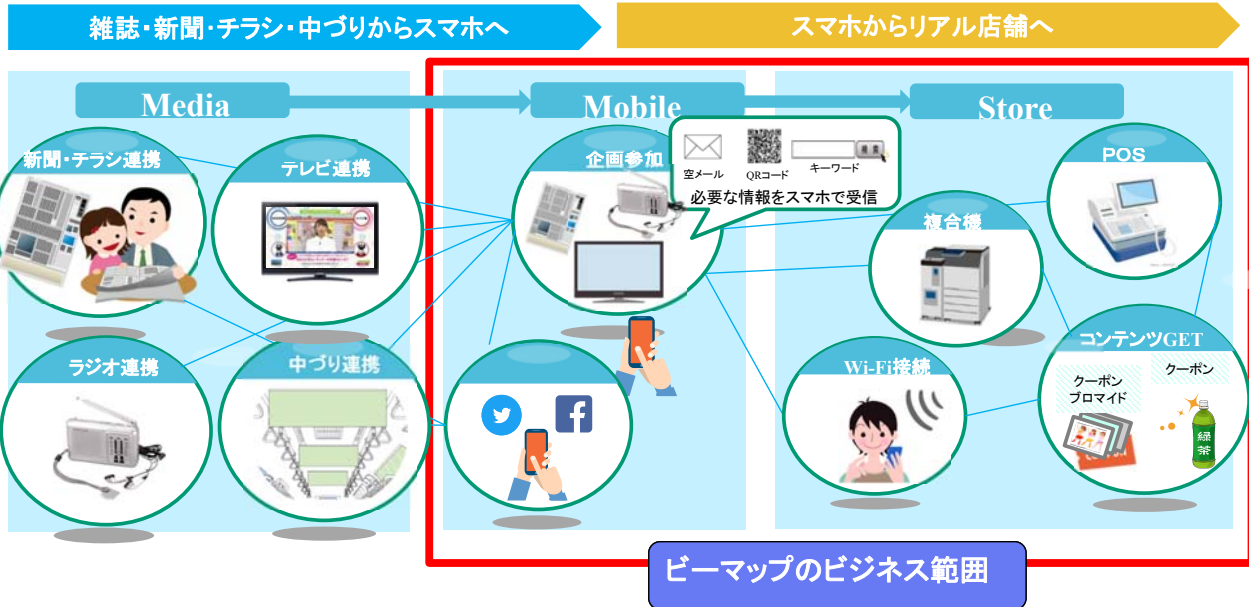


画面イメージ

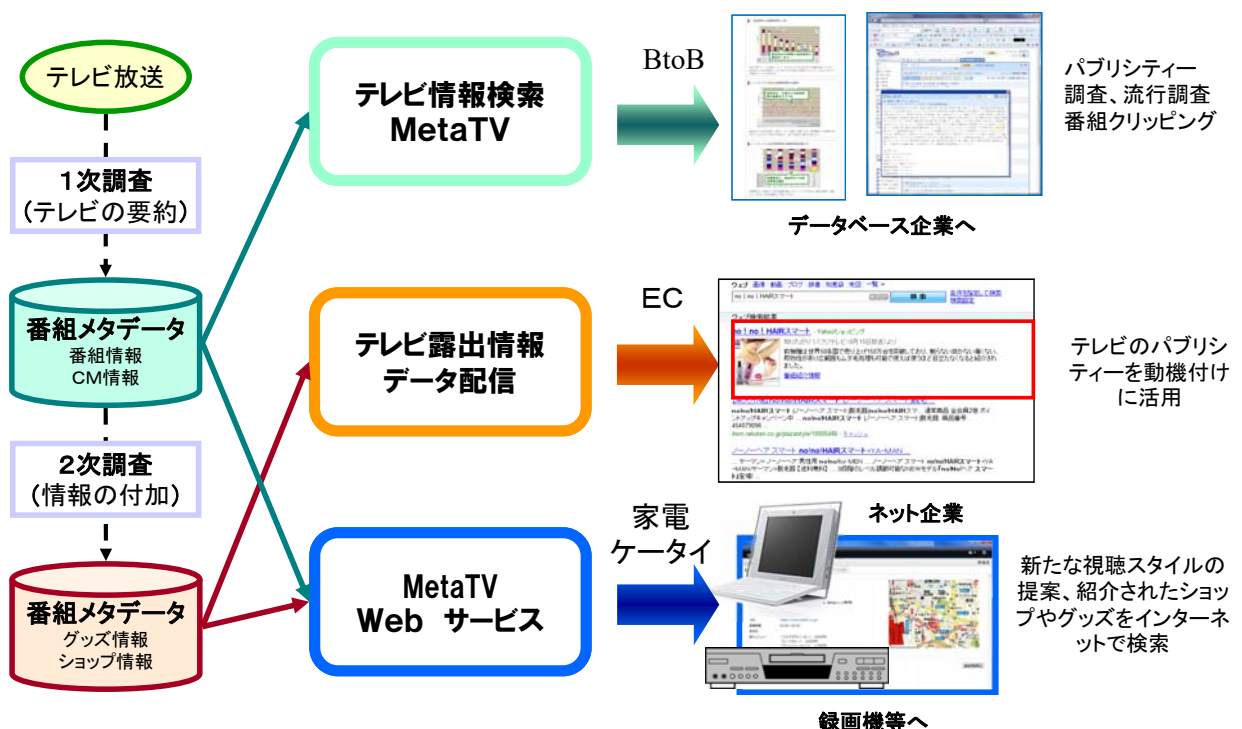
ソリューション事業

O2O20及びMMSソリューション

O2O20(OnAir to Online to Offline)及びMMS(Media to Mobile to Store)とは、放送、新聞、交通広告などからスマートフォンを活用し、リアル店舗までをつなげます。



提供するTVメタデータサービス 例



コンビニのマルチコピー機を活用したコンテンツプリントサービス

■ ビーマップは、コンテンツのプラットフォームとして、コンテンツ集めからシステム開発、コンテンツ編集、配信までを行っています。



共同事業体として 告知プロモーション・イベントの実施

こんぷりんWebサイト <http://www.conprin.com/>

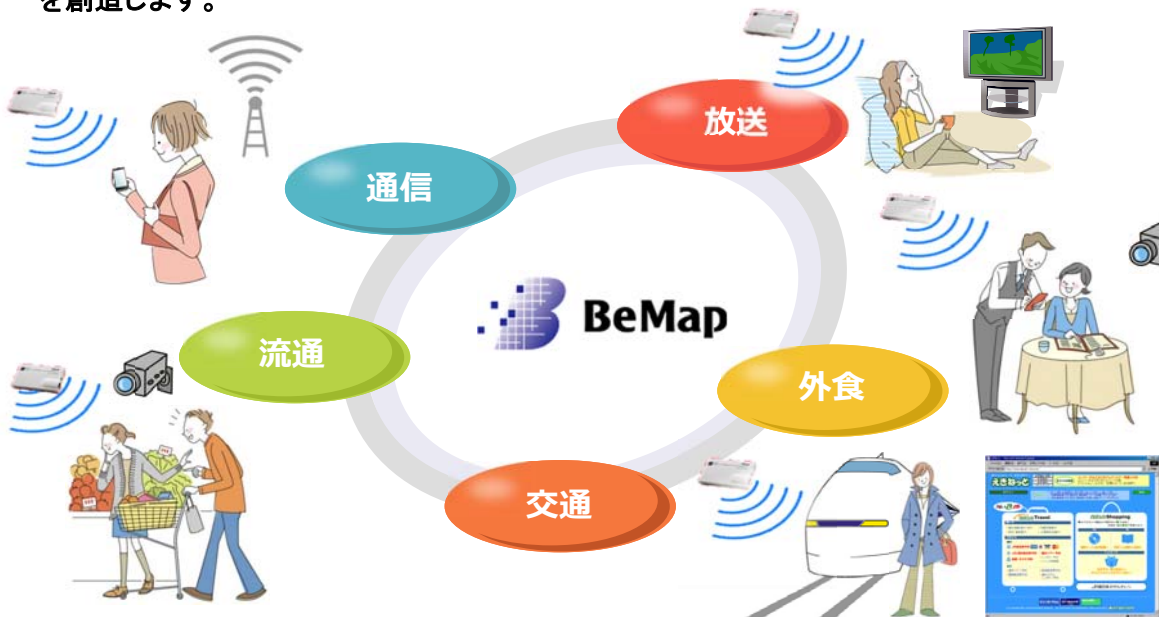
コンテンツ事例

- AKB48/乃木坂46(期間限定企画)
- グラビアカレンダー
- 漫画キャラクターカレンダー

ビーマップの新しい取り組み

ビーマップ 事業カバーエリア

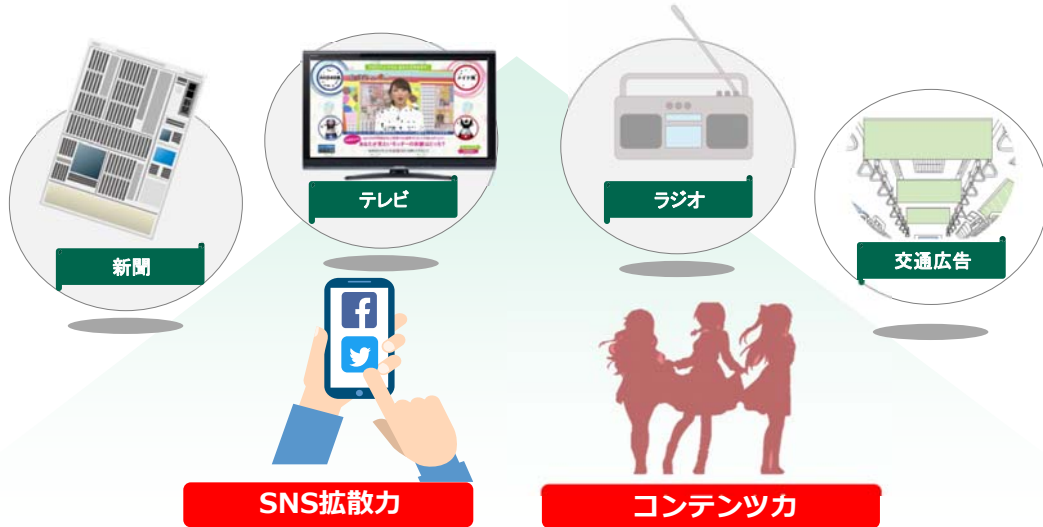
ビーマップは、交通、通信、放送、流通、外食と社会のインフラになるサービスを高度な技術で支えています。これらの、事業エリアを当社の技術で結合することにより、新しい付加価値を創造します。



流通業界の状況

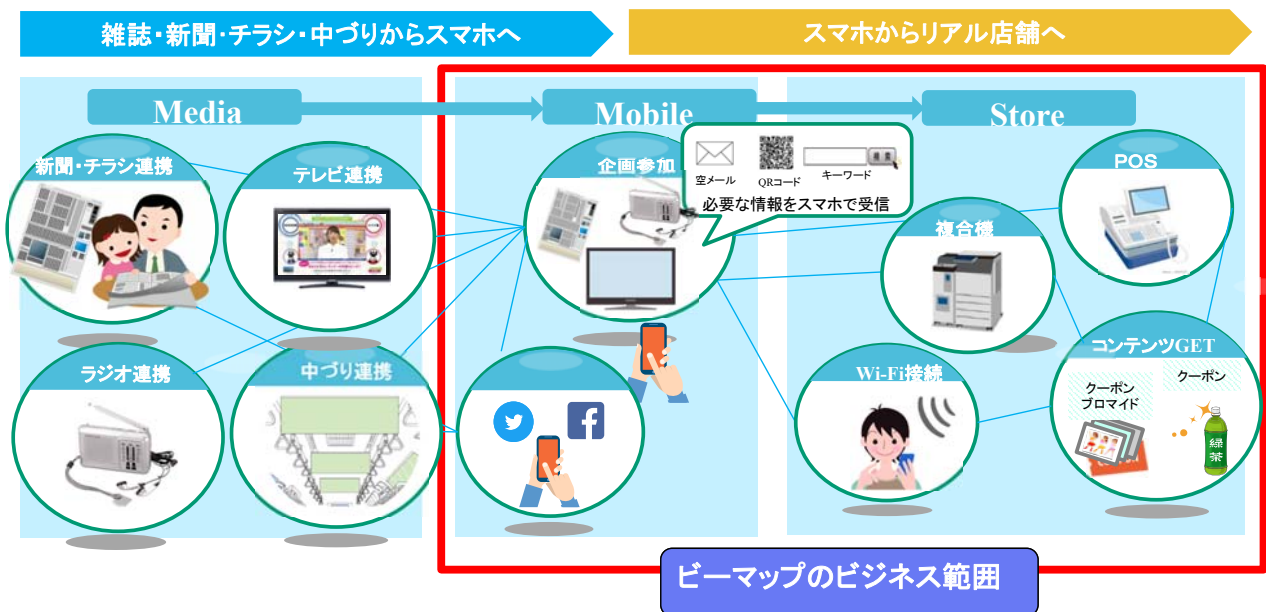


既存メディアをIT、コンテンツの力で付加価値を付けます。
メディア・コンテンツ連携により、より強固なメディアをつくります。



O2O2O及びMMSソリューション

O2O2O(OnAir to Online to Offline)及びMMS(Media to Mobile to Store)とは、放送、新聞、交通広告などからスマートフォンを活用し、リアル店舗までをつなげます。



 TV番組・CMデータの調査・分析・配信			jekiインタラクティブ コミュニケーションズ	 Crafting the Core 株式会社デンソーコミュニケーションズ	 株式会社クナイ
出資 設立発起人	出資 筆頭株主	出資	出資 業務提携	出資 業務提携	出資
テレビメタデータを制作・販売する企業を設立。民放キー局・二大代理店も出資。	Media to Mobile to Storeを実現するデジタルマーケティング企業を設立。新聞×放送×交通広告×アイドル×ITによりMMSを実現する。	視聴履歴の活用による放送の新しいサービスを提供。O2O2Oビジョンを実践。	交通広告をデジタル化する企業	自動車旅行を楽しむための事業を展開	映像関係を得意とするシステム開発会社
共同出資企業	共同出資企業	共同出資企業	共同出資企業	共同出資企業	共同出資企業

■ O2O2O・MMSソリューション実績案件紹介

Media

番組・アイドルによる告知

Mobile

番組内での抽選

Store

店舗でのクーポン提供

Media

トレインチャンネルでの告知

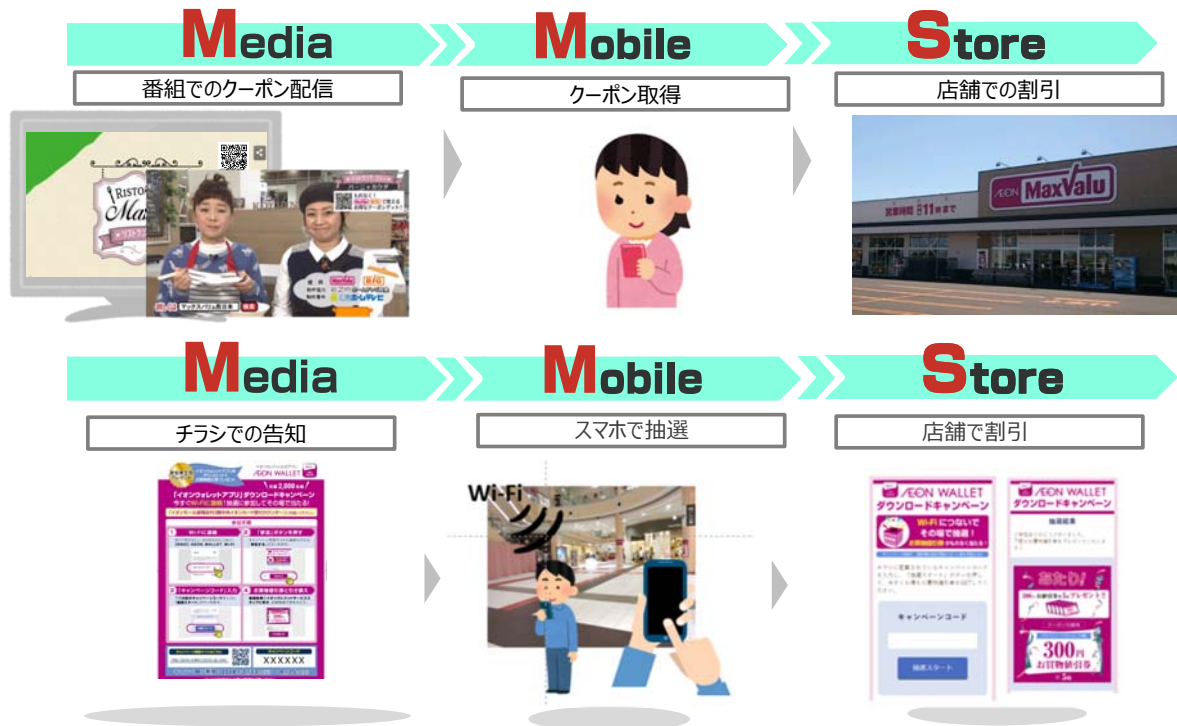
Mobile

抽選

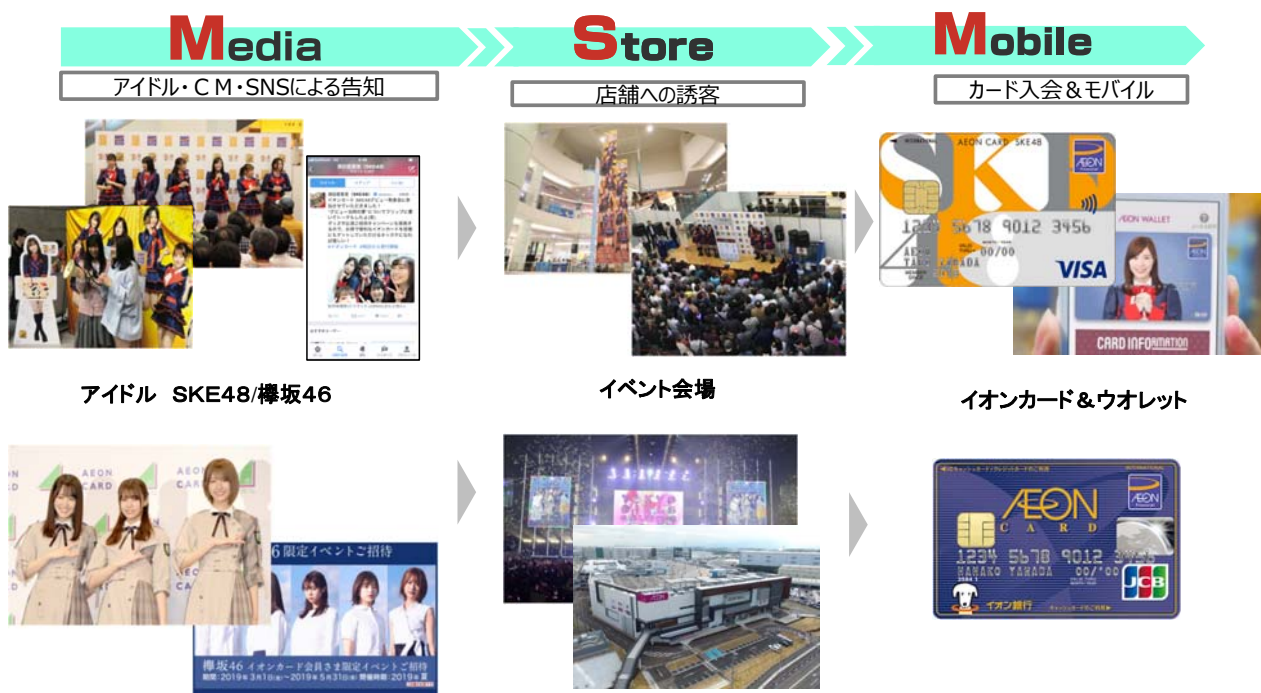
Store

店舗でのサンプル提供

■ O2O20・MMSソリューション実績案件紹介



■ O2O20・MMSソリューション実績案件紹介



■ O2O2O・MMSソリューション実績案件紹介



1 対象店舗でお買い物



キャンペーン対象店舗で対象商品を購入します

2 レシートを撮影



レシートを撮影してアップロードします

レシート判別システム

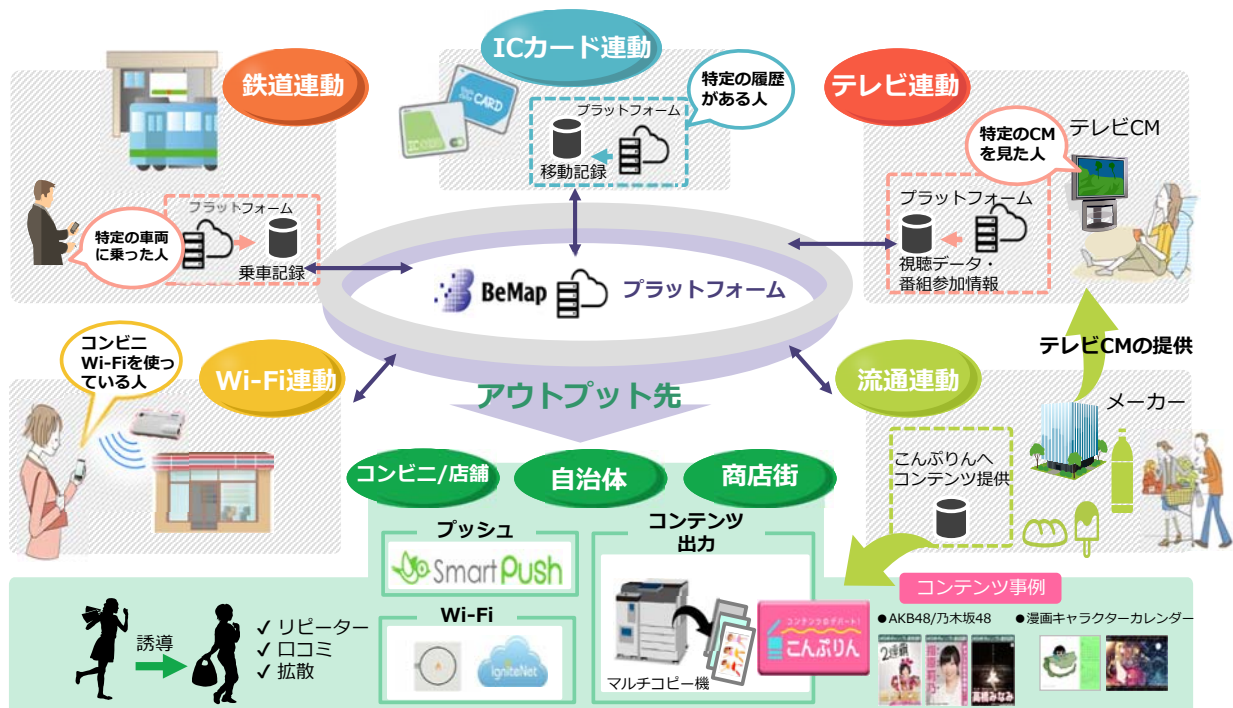


レシート判別情報
 ・セブン様ロゴ
 ・日付/時間
 ・商品名
 ・合計金額
 キャンペーン参加資格を判別
 OK
 NG
 キャンペーン参加資格がありません。

3 特設サイトから抽選に参加



ビーマップのソリューション一覧



2021年3月期 業績予想



Copyright©BeMap,Inc.

2021年3月期の業績予想



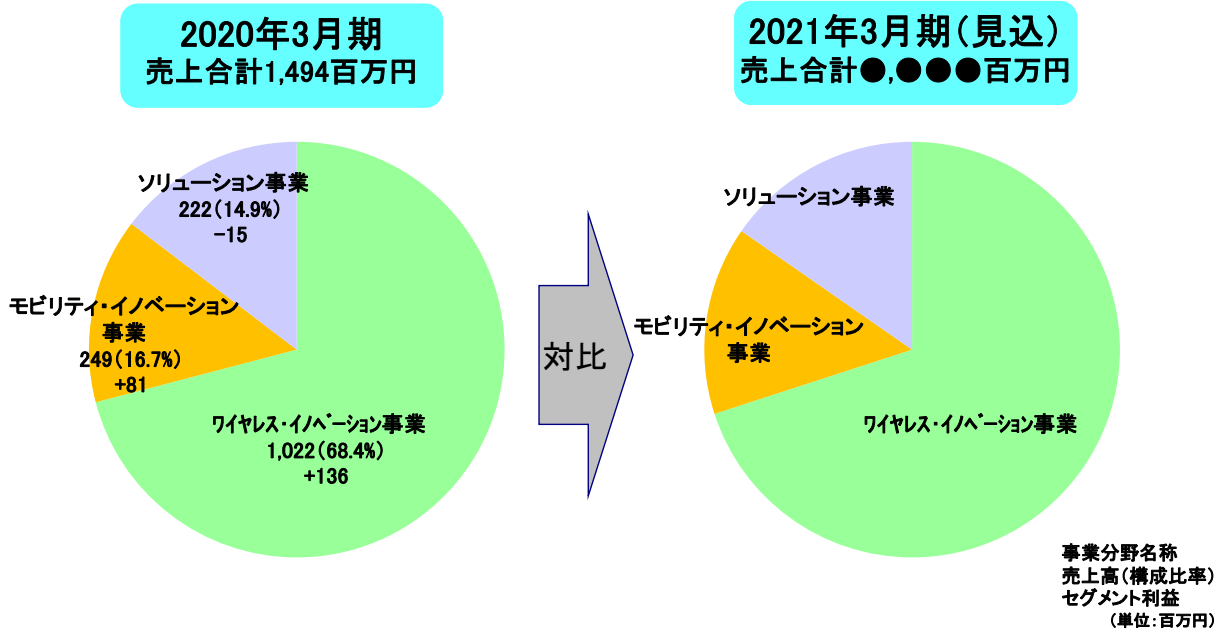
(単位:百万円)

	2021年3月期 予想	2020年3月期 実績	増減	前期比
売上高	策定中であり、 決定後速やかに公表させていただきます。	1,494	+18	+1.3%
営業利益		101	+9	+11.1%
経常利益		116	+7	+8.4%
当期純利益		88	+2	+3.2%

売上高	新型コロナウイルスの影響により、 ①顧客・事業提携先において、事業投資(特に新規)の推進に慎重な傾向がみられること、②提案・営業活動に制約があること、 から、見通しを合理的に試算することが、困難な状況です。 なお、ベースは昨年公表した中期事業計画に基づく予定であり、新型コロナウイルスの影響から如何に早く脱却するかがカギと考えております。
営業利益	
経常利益	
当期純利益	

Copyright©BeMap,Inc.

前期に引き続き、ワイヤレス・イノベーション事業が売上の大きな割合を占める予定。今後の注力分野として、ソリューション事業、特にMMS事業の収益拡大に取り組む。



中期3カ年経営目標の見直し(予定)

昨年策定した中期計画の1年目の数値は達成したものの、2年目以降の見直しは未。

(単位:百万円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	2021年3月期 目標	2022年3月期 目標
売上高	1,482	1,500	1,550	1,600
ワイヤレス・イノベーション	1,051	900～1100	940～1150	980～1,200
ナビゲーション	214	200～230	210～240	220～250
ソリューション	217	180～350	200～400	220～450
営業利益	81	<input checked="" type="checkbox"/> 90	100	110
経常利益	83	<input checked="" type="checkbox"/> 90	100	110
当期純利益	63	<input checked="" type="checkbox"/> 65	70	75



※3カ年終了時には累積解消を視野に入れる予定。

事業分野別の取り組み(予定)

コロナの影響で、不透明ではあるものの、取り組むべき課題は継続

① ワイヤレス・イノベーション事業分野

- エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社をはじめとするビジネスパートナーと連携し、無線LAN関連サービスの拡大、通信インフラ上でのサービス案件、既存システムの拡張・更新・安定運用に関わる案件の増加による売上増を目指す。
- 2021年東京オリンピック・パラリンピックに向け、無線インフラ整備が一層進むことを想定し、インフラ関連の案件とそれを利用したサービス案件双方において受注拡大を目指す。
- 当社商品であるIgniteNet及びクラウド管理システム、車載サーバをはじめとするAirCompassシリーズ、IoT関連開発、ヘルスケアソリューションFit Life Visualの販売を強化する。
- ローカル5G、ICT・IoT農業系に関する新技術開発による新規売上増。

② モビリティ・イノベーション事業分野

- 引き続き鉄道会社のインターネット予約サイトについては現行レベルの事業規模を維持する。
- 交通系ICカードを活用したtransit managerの販売強化、関連システム開発受注を強化する。
- 各鉄道事業向けのアプリ開発の受注を強化する。
- MaaSなど最新の技術・サービス動向に沿った事業展開に取り組む。

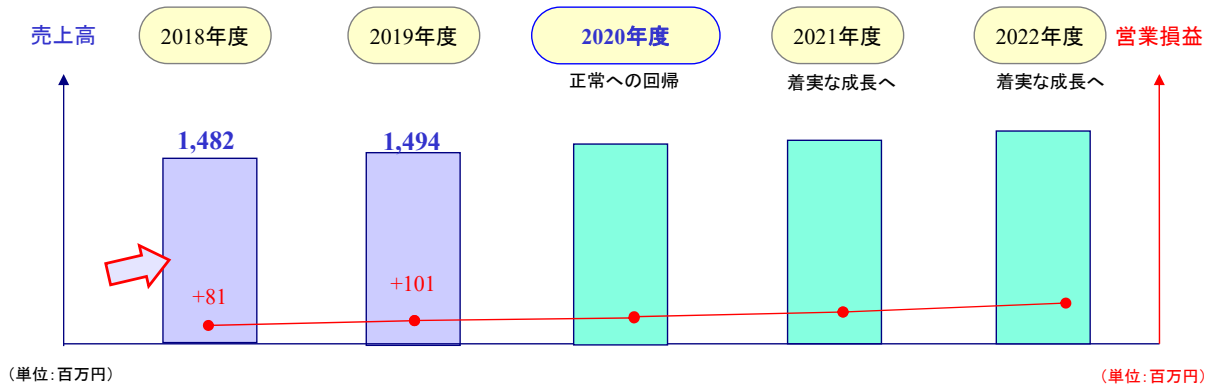
③ ソリューション事業分野

- O2O20/MMSを事業の完全黒字化。ソーシャル分野強化。
- メディアから店舗へのワンストップソリューションのシステム強化。
- 外食・流通向けソリューションの販売強化。
- こんぷりんについては、コンビニをはじめとするプリンタ・複合機向けのコンテンツ配信インフラとして収益拡大を目指す。
- J-TALKの視聴覚障害者向けサービスの拡充。

2020年度＝コロナウイルスの影響を脱し、成長路線に早く復帰すること
そして、4年連続黒字と黒字幅拡大を目指します

受注増・高品質・高利益率を追求する
取り組みを継続

- ・受注増に向けた顧客に対する営業力強化
- ・安定した利益確保に向けた人員スキル向上
- ・工程・品質管理の徹底、開発スタッフの効率的活用
- ・高利益率の当社独自商品を中心とした収益モデルへ



本資料は、当社の事業、業績等を説明する為の参考資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

この資料に掲載されている見通し、その他今後の予測・戦略などに関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えなされるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送などを行わないようお願い致します。

本資料に対するお問い合わせ

株式会社ビーマップ
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-12-5 内山ビル5F
経営管理部 IR担当 (03-5297-2181)